



アシストJP1ユーザ会中日本支部

ユーザ交流会 開催報告

第12回ユーザ交流会では、JP1バージョン11のご紹介、毎回大好評の座談会を開催。
ユーザ様、メーカー様、アシストで、最新機能や改善・拡張要望、運用相談など熱い議論を交わしました。

概要

日時: 2016年4月26日(火) 13:30-18:30

会場: 株式会社アシスト 中日本支社 セミナールーム

参加者: JP1ユーザ 17名様

プログラム:

- ・ご挨拶
- ・JP1バージョン11のご紹介
- ・JP1活用座談会
- ・討議内容発表、総括
- ・懇親会



幹事 株式会社三和化学研究所 桑山様

参加者アンケート:

「今後のユーザ交流会の開催内容について」

- ・ユーザ会員による講義・発表 (6票)
- ・ユーザ会員同士のディスカッション (14票)
- ・日立製作所様による講義 (10票)
- ・アシスト技術者等による講義 (10票)

「今後のユーザ交流会の開催テーマについて」

- ・JP1を使った業務の工夫、ノウハウ (10票)
- ・JP1適用設計ノウハウ (6票)
- ・他社のJP1運用を知る、情報交換 (10票)
- ・運用業務標準化 (10票)
- ・運用の見える化 (4票)



特に座談会が大好評！今後も有意義な時間となることを目指します。

JP1バージョン11のご紹介

日立製作所様より、2016年1月にリリースされた「**JP1バージョン11**」について説明いただきました。

「**JP1バージョン11**」は、多くの新機能、新製品(JP1/Operations Analytics)を提供しています。

スピード経営時代のIT統合管理「**JP1 as a Service**」は、以下の3点を実現します。

1. ビジネス変化に即応できるサービス利用型のJP1を提供
2. お客様のクラウド活用の高度化を強力に支援
3. 変化の激しいIT環境を自動化・自律化により徹底的に効率化



株式会社日立製作所 加藤様

今後とも、生まれ変わった「**JP1バージョン11**」をよろしく願い致します。

JP1バージョン11の詳細はこちら <http://www.hitachi.co.jp/Prod/comp/soft1/jp1/about/v11/index.html>

JP1活用座談会

今回もジョブ管理、監視、資産管理チームに分かれ、最新機能や改善・拡張要望、運用相談について議論しました。

議論の結果は最後に総括として、各チームの代表者様に発表いただきました。**JP1活用座談会の詳細は、裏面をご確認ください。**



懇親会の風景

今回もジョブ管理、監視、資産管理チームに分かれ、最新機能や改善・拡張要望、運用相談について議論しました。

ジョブ管理グループ

第1部: メーカーへ製品改善・拡張をお願いしよう!

前半は、JP1/AJS3のバージョン11から提供された、WebGUI機能をデモを交えてご紹介しました。以前からご要望いただいていた、WebGUI機能が実装され、Webブラウザからジョブの実行登録、登録解除、実行状況の監視を行うことが可能となりました。



後半は、「再実行や簡易的な定義変更を行いたい」、「ジョブ数やシステムの負荷状況を確認したい」など、WebGUIに今後追加してほしい機能について意見交換を行いました。

ユーザー様から、メーカー様に直接エンハンス要望を伝えられる貴重な場となりました。

第2部: JP1ユーザ同士語り合おう!

障害発生時には、各社様にどのように対応しているか、といった素朴な疑問から情報共有をする場面がありました。ジョブネットではなく、当該のジョブから再実行するようにしている、ユーザー側への教育が必要だと感じる再実行時のルールは展開するようにしている、など各社様の運用状況を共有し合いました。

また、ジョブの実行状況の分析を行いたいという声が各社様から挙がりました。実行状況や結果を可視化できるようにしたい、実行結果から予測を立てて、ジョブを開発する際の参考にしたい、バージョン11から実装されたWebGUIで実現できないか、などの意見もいただき、運用情報分析の需要の高まりを感じました。



各社様が運用で抱えている課題を共有し、多くの意見を交換することのできる活発な議論の場となりました。

監視グループ

第1部: JP1バージョン11の新機能を語り合おう!

主にJP1/IM-Managerのメッセージ変換機能、固有属性付与機能について、デモを交えて活用例をご紹介しました。メッセージ変換機能については、バージョン10までJP1/IM-MOとして提供されていた機能ですが、バージョン11からは同等の機能が包括されました。是非ご活用ください。



例えば、「ERR」という文字列を「エラーが発生しました。」という文字列に自動変換し、JP1/IM-Viewの統合ビューに表示することが可能です。固有属性付与機能については、任意の列をJP1/IM-Viewに追加できます。例えば、「拠点」、「システム種別」、「連絡先」などの列を追加し、「SEISAN」という文字列を含むJP1イベントが発行された場合、「システム種別」列に「生産システム」と自動表示できます。より便利になった、JP1監視製品を是非ご活用ください。

第2部: JP1ユーザ同士で語り合おう!

主に自社の運用状況と、他社様の事例を語り合いました。

Q.JP1/IM-Manager単体でインシデント管理を実現できるか

- A1.JP1イベントを自動的に「進行中」に変え、その後「対応済み」にする
- A2.各機器の運用担当に自動通報され、対応期限が決められている
- A3.紙の報告書を作成するルールとなっている

Q.メール通報と電話通報の回数を個別に設定できるか

- A1.オペレータによる手動通報であれば、運用ルールを再検討する
- A2.スクリプトによる自動通報であれば、スクリプト側で工夫はできそう
- A3.JP1シリーズの場合、JP1/TELstaffによる制御が可能



休憩時間中にも、お客様同士、重大なシステム障害が発生した場合の対応フローを語り合うなど、大変有意義な時間となりました。

資産管理グループ

第1部: JP1ユーザ同士で語り合おう!

前半は、JP1/ITDM2からモバイルOSの管理ができるようになったこともあり、各社でのモバイル端末に関する利用状況や管理体制について意見交換がされました。



また、JP1/ITDM2から提供されているSaaS利用についても議論され、現在は利用開始に台数制限がかかっているが、今後は利用ニーズがますます高くなると予想されるため、小規模から大規模まで幅広いユーザーがサービスを利用できるよう検討して欲しいとご要望がありました。

その他、リモートコントロール機能や操作ログなど、提供されている機能をどのように活用しているか情報共有されていました。



今回も活発な議論を行っていただき、ありがとうございました。今後もユーザー様のご意見を基に、より良い場となるよう尽力致します。

JP1ユーザ会で取り上げたいテーマなどございましたら、いつでも弊社担当へご連絡いただければと思います。

今後ともJP1をご愛顧のほど、そしてユーザ交流会へのご参加のほど、何卒宜しくお願い申し上げます。

第2部: メーカーへ製品改善・拡張をお願いしよう!

後半は、JP1/ITDM2から適用された操作ログの機能改善項目をご紹介し、管理画面での操作ログ閲覧・表示速度改善に関する取り組みや、他ログ解析ツールと連携しやすくするための機能改善についてメーカーより説明を受けました。

ユーザー様からは、メーカーに対して多数の改善要求が上がりました。

- ・操作ログの検索条件を充実させてほしい (例: OR条件など)
- ・特定の違反操作のみ管理者がすぐ検知できるよう、不審操作の定義や通報の仕組みを充実させてほしい など



お客様同士、他社の利用状況について関心が強く、活用方法についてもっと時間をかけて議論したいとの意見がありました。